



ALVARK Will

2024-25シーズン活動報告

トヨタアルバルク東京株式会社

アルバルク東京の社会的責任

アルバルク東京は、世界的大都市東京を拠点とし、「私たちは可能性を広げて変革を起こし、東京で、そして世界へ、感動と勇気を届けたい。」というミッションを掲げて活動しています。

その中で、クラブ社会的責任を果たすため、2021-22シーズンより「ALVARK Will」というプロジェクトをスタートいたしました。2024-25シーズンからは、「3つのWill」として「健康・成長・環境」の3つの社会課題領域を注力領域として設定し、さまざまな方々と共に課題解決に取り組んでいます。

ALVARK Willの「Will」には、“未来”や“意思”という意味が込められています。クラブスローガンでもある「WE」の力で笑顔あふれる未来を作るべく、今後もファン、地域、パートナー企業と一緒に全力で取り組んでまいります。



ALVARK Will

代表挨拶 MESSAGE

2021-22シーズンからスタートしたアルバルクの社会的責任プロジェクト「ALVARK Will」は2024-25シーズンで4シーズン目を迎えました。この4年間、多くのファンの皆様、地域社会、パートナー企業と社会課題の解決に向けてたくさんのプロジェクトに取り組んでまいりました。

ホームゲーム会場内では、昨年度に引き続き、環境にやさしい取り組みとして、マイボトルの推進やカップの洗浄リサイクル、脱プラスチッククッションシートの設置などを実施。さらに今シーズンは、不要になったシューズの回収を行い、リサイクルした素材を新たなホームアリーナである「TOYOTA ARENA TOKYO」の一部として活用するなど、アリーナ移転を見据えた活動も行いました。オフコートにおいても子供たちの笑顔を増やすために選手やチアリーダーが学校や児童館などに訪問して一緒に体を動かしたり、防災の啓発活動を行うなど、コミュニティの活性化につながる取り組みを行っております。

2025年10月には、江東区青海に、新ホームアリーナ「TOYOTA ARENA TOKYO」を開業いたします。

新アリーナはコンセプトの一つに「サステナビリティ」を掲げており、さまざまな面で環境に配慮した仕様となっています。私たちとしても、社会課題に真摯に向き合い続けることで、社会の発展に尽くして参る所存です。

トヨタアルバルク東京株式会社
代表取締役社長 林 邦彦

2024-25活動内容

健康

スペシャルオリンピックス日本・東京との包括連携協定に関連した活動

アルバルク東京は、2024年1月に公益財団法人スペシャルオリンピックス日本・東京（SON・東京）と包括連携協定を締結しました。



2016年のクラブ創設以来、スペシャルオリンピックス（SO）と連携し、2017年からは毎年ホームゲームで「スペシャルオリンピックスデー」を開催。SOチアとアルバルクチアリーダーの共演などを通じて、スペシャルオリンピックス日本（SON）およびナショナルパートナーであるトヨタ自動車とともに、SOの普及に努めてきました。今後は、東京都内各地での普及活動や交流イベントをさらに強化し、SONの認知拡大に取り組んでまいります。

■2024-25シーズンの主な取り組み

- 6月**：「第17回SON・東京 夏季地区大会開会式」にアルバルクチアリーダーが参加し、SOチアとともに入場行進とパフォーマンスを披露。
- 11月**：「SON・東京創立30周年記念イベント」へアルバルク東京のスタッフが運営ボランティアとして参加。また、チアリーダーとルークも参加しました。
- 2月**：ホームゲームにて「スペシャルオリンピックスデー」を開催。アルバルク東京U18とSON・東京アスリートによるユニファイドバスケットボールのエキシビションゲームや、コラボチアパフォーマンスを実施。

これらの活動が評価され、2025年4月、「SON・東京2024年度活動報告会」にて、イベント運営や認知拡大への協力に対し、感謝状を授与されました。



*写真提供：スペシャルオリンピックス・東京

◆スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックス（英語: Special Olympics）とは、知的障がいのある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックスは非営利活動で、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています。またスペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障がいのある人たちをアスリートと呼んでいます。

2024-25活動内容

健康

ホームゲームでの託児サービス実施

国立代々木競技場第一体育館で開催されたホームゲームにて、託児サービスを実施しました。

「小さな子どもを連れての観戦が不安」「すぐに飽きてしまうかも」といった保護者の方々の声に応え、経験豊富なシッターがお子さまを試合中にお預かりしました。



健康

女性の健康週間

3月1日～8日の「女性の健康週間」、3月8日の「国際女性デー」にあわせて、試合会場などで啓発活動を実施しました。

ALVARK Willブースでは、国際女性デークイズを行い、参加者にはオリジナルステッカーや「子宮頸がん検診」に関するリーフレットを配布。また、相互協力協定を結ぶ文京区の協力のもと、動画放映などを通じてホームゲーム以外でも啓発活動を行いました。



健康

「カラダ想いの具だくさんミネストローネ」販売

2-4月のホームゲームにてSDGsパートナーのアイセイ薬局とのコラボフード『カラダ想いの具だくさんミネストローネ』を販売しました。会場でお楽しみいただけるフードを通じて、ご自身やご家族の健康を少しでも意識するきっかけとしていただきたい、というアイセイ薬局の思いのもと実現いたしました。



健康

SPECIAL AUCTION

2024-25シーズンのホームゲームにて使用した公式試合球（全選手サイン入り）や、全選手サイン入りユニフォーム、サイン入り実使用ユニフォーム、をはじめ、複数のサイングッズをオークションに出品しております。

このオークションの収益の一部は、ALVARK Willの活動に活用いたします。



2024-25活動内容

健康

ピンクリボン活動



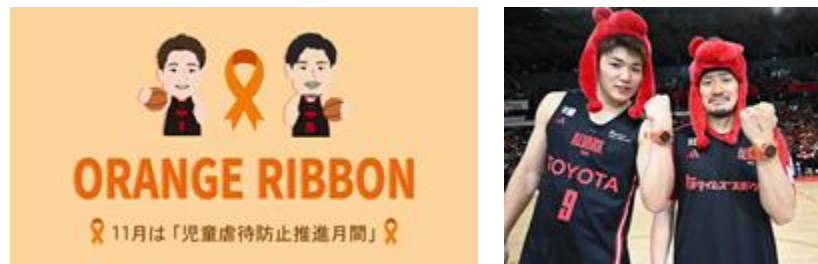
もっと皆さんにも乳がんについて知ってほしい、自分の体を大事にしてほしいという思いから、毎年10月にピンクのバッシュを履くなどの「ピンクリボン活動」を行う#10 ザック選手。アルバルク東京はザック選手を中心に、クラブとしてもピンクリボン活動を推進しています。7年目となる今シーズンは、あらためてファンの皆さんにピンクリボン月間について知ってもらうため、ホームゲーム会場で「ピンクリボンクイズラリー」を行いました。5日間で約2,400名の方に参加していただき、参加者アンケートでは、クイズを通してピンクリボンを初めて知る方や、理解を深められたという回答が多数ありました。

協力：adidas G-SHOCK 東京都 文京区 渋谷区 立川市 府中市 江東区
ラッコズカリフォルニアスタイルタコス

健康

オレンジリボン運動

オレンジリボンは、子ども虐待防止運動のシンボルです。
アルバルク東京では、11月に選手やルーク、スタッフはオレンジ色のアイテムを身に着け、試合に臨みました。また、来場者参加型イベントも実施しました。
啓発活動として、#9安藤選手、#25福澤選手に協力いただき、啓発動画を放映しました。



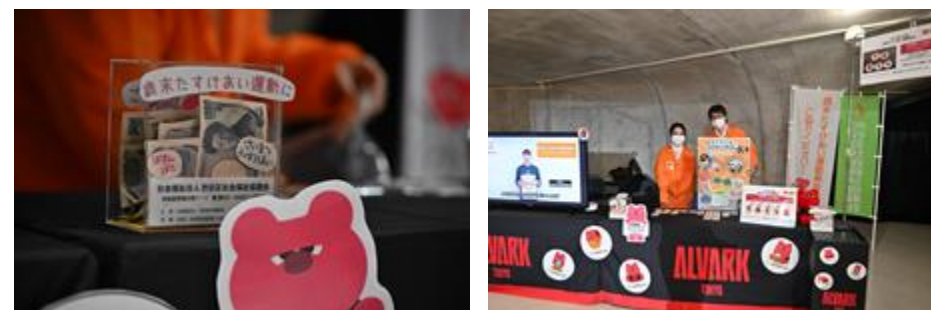
協力：認定特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク 社会福祉法人二葉保育園 二葉乳児院 二葉・子どもと里親サポートステーション（Tokyo里親ナビ） 子ども家庭庁 東京都 文京区 渋谷区 立川市 府中市 G-SHOCK

健康

歳末たすけあい運動

12月の「寄付月間」に合わせて
国立代々木競技場第一体育館で開催した
ホームゲーム2日間で『歳末たすけあい運動募金』を実施しました。

寄付額：2日間合計 152,117円
この運動にて集まった募金・寄付品は、渋谷区社会福祉協議会様を通して、地域の福祉活動を進めるために活用させていただきます。



健康

フードドライブ実施

3月29日(土)、30日(日)ファイティングイーグルス名古屋戦にてフードドライブを実施しました。
寄付していただいた食品は江東区社会福祉協議会を通じて、食品を必要とされている方々に届けられます。また、寄付していただいた方には江東区社会福祉協議会とアルバルク東京のオリジナルコラボステッカーをプレゼントいたしました。

◆フードドライブ実施内容
寄付先：江東区社会福祉協議会
寄付品：食品206点、23.5kg



2024-25活動内容

健康

深川スポーツセンター中学生サマークリニック



8月8日(木)に、江東区深川スポーツセンターにて東京ユナイテッドバスケットボールクラブと共同で中学生バスケットボールサマークリニックを実施しました。アルバルク東京からは、#1岡本選手とアカデミーコーチが参加し、ドリブルやシュートなどのスキル練習に取り組みました。



健康

「文京区×アルバルク東京×トヨタ自動車 パラスポーツ体験会～やってみよう！パラスポーツ！！～」の実施



2月8日(土)に、文京区、トヨタ自動車と連携し、文京スポーツセンターにて、「車いすバスケットボール」、「バスケットボール」、「競技用義足」、「ボッチャ」の4種目を体験するイベントを実施しました。競技用義足体験では2017年世界パラ陸上 4x100m銅メダリストの池田樹生選手、ボッチャ体験ではオープン立位の日本チャンピオンの小西麻衣選手がお越しくださいました。



健康

中野区バスケットボールクリニック



8月3日(土)、中野区・トヨタモビリティ東京株式会社、トヨタモビリティサービス株式会社の協力のもと開催された「中野区バスケットボールクリニック」に、#25福澤選手、#21平岩選手、アカデミーコーチが参加しました。

今回は、事前メニューではなく、参加者が学びたい内容をその場で発表し、それに応じたスキルアップメニューを実施しました。



健康

「立川シティハーフマラソン2025」参加



3月9日(日)に開催された「立川シティハーフマラソン」にアルバルク東京U15の8名がファンラン3kmの部にランナーとして参加しました。アルバルク東京のブースでは、シュートチャレンジを実施し、U15の選手もスタッフとして地域の方々と楽しい時間を共有しました。



2024-25活動内容

健康

障がいのある方を対象とした「ほりで～ぷらん調布」実施



2月16日(日)、市民大町スポーツ施設にて「ほりで～ぷらん」の一環として、バスケットボール教室を実施しました。この取り組みは、障がいのある方が継続的にスポーツや余暇を楽しめる機会を提供することを目的としています。当日は、ピープルデザイン研究所、調布市、調布市福祉作業所等連絡会の皆さまと共に、アルバルク東京のアカデミーコーチが参加し、基礎練習やミニゲームを通じて楽しいひとときを過ごしました。



健康

チアダンス教室実施



府中市立府中第六中学校の中学1年生を対象に、アルバルクチアリーダーのERINAとKANAEによるダンス教室を実施しました。本事業は、府中市が推進する「FUCHU-NEXT」プロジェクトの一環で、次代を担う子どもたちへのアプローチを核としたトップチーム等連携プロジェクトです。ダンスを通じて、生徒たちと身体を動かす楽しさを共有しました。



健康

障がいのある方を対象とした体操教室実施



アルバルクチアリーダーのRUNA、HANANEが、府中市在住・在勤の障がいのある方を対象に体操教室を実施しました。本教室は、府中市の「FUCHU-NEXT」プロジェクトの一環として、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる地域づくりと、障がい者の社会参加・地域交流の促進を目的に開催されました。



健康

親子でチアダンス！@たまがわLOOP



8月31日(土)、アルバルクチアリーダーのERIとRUNAが講師となり「親子でチアダンス！」を実施しました。親子でチアダンスを楽しんだほか、バスケットボールのルールや試合会場の楽しみ方についても紹介しました。



2024-25活動内容

健康

マスコットキャラバン実施

8月20日(火)に、マスコットキャラクターの「ルーク」とアルバルクチアリーダーのYUUKIとERINAが、キッズスマイル江東東砂を訪問しました。園児の皆さんと一緒に、ダンスを通して身体を動かすことの楽しさを共有しました。



健康

貞静幼稚園への訪問

2月3日(月)と28日(金)の2日間、文京区の貞静幼稚園を訪問し、バスケットボール教室とチアダンス教室を実施しました。

バスケットボール教室では、年中・年長の園児の皆さんと一緒にドリブルやパス、シュートを楽しく体験しました。チアダンス教室では、「笑顔」と「ありがとうの言葉」を大切に、元気いっぱいに踊りました。



健康

立川第七中学校新体育館内覧会

3月20日(木)に開催された「立川第七中学校新体育館 落成式典・内覧会」に、アルバルクチアリーダーのMOMOKAとERINAが参加しました。

同校の体育館は2022年6月の火災を経て新たに完成し、式典では立川プロスポーツ連絡会の各クラブからクラウドファンディングで贈られたパイプ椅子の贈呈式も行われました。内覧会では地域の皆さまに向けたスポーツ体験が実施され、アルバルク東京はチアダンス教室を担当しました。



健康

アイセイ薬局presents【お薬を正しく楽しく学ぼう！ ～テーマ：アンチ・ドーピング～】

4月6日(日)、ファンクラブジュニア会員を対象に、カードゲームを通じて薬やサプリメントの注意点やアンチドーピングについて学ぶイベントを開催しました。

アルバルク東京からは、元選手で現事業部部長の正中岳城とアルバルクチアリーダーのYUUKI、MOMOKA、RUNAが参加しました。



2024-25活動内容

健康

「BunkyoSportsPark2024」へ参加

10月14日(月・祝)、文京区立教育の森公園と文京スポーツセンターで開催された文京区スポーツ振興課主催の「Bunkyo Sports Park」に、アルバルクチアリーダーERI、YUUKI、HANANEが参加しました。ステージでは力強いパフォーマンスやアルバルク東京クイズで会場を盛り上げ、ブースではチアのダンスレッスンやシュートチャレンジを実施。参加者にはオリジナルグッズをプレゼントし、多くの方に楽しんでいただきました。



健康

「渋谷スポフェス2024」へ参加

11月17日(日)に渋谷区スポーツセンターで開催された「渋谷スポフェス2024」にアルバルク東京から、アルバルクチアリーダー、ERINA、YUKA、HANANEとアカデミーコーチが参加しました。バスケット体験会・チア体験会のそれぞれを実施し、初めての方も、経験のある方も皆と一緒にプレー・レッスンをを行い、非常に楽しい時間となりました。



健康

「中央線開業135周年！スポチャレ立川駅2024！」へ出演

10月14日(月・祝)、立川駅で開催された「中央線開業135周年 秋のスポチャレ立川駅2024」にアルバルクチアリーダーERINA、RUNA、NAGISAが出演しました。このイベントは立川駅と立川市を拠点とするプロスポーツ団体「立川プロスポーツ連絡会」が主催し、スポーツの秋を楽しむイベントです。各チームの体験イベントや子ども向けキーワードラリーが行われ、「いろんなスポーツが体験できてよかった！」という声も聞かれました。



健康

「第42回江東シーサイドマラソン大会」参加

11月24日(日)に江東区夢の島競技場にて開催された「第42回 江東シーサイドマラソン大会」に、アルバルクチアリーダーのERIがランナーとして参加しました。また、応援隊として、ERINA、YUKAも駆けつけ、ランナーの皆さまにエールを送りました。



2024-25活動内容

成長

「ふるさと渋谷フェスティバル2024」へ参加

11月3日(日)に代々木公園イベント広場で開催された「第46回渋谷区くみの広場 ふるさと渋谷フェスティバル2024」に参加しました。ブースでは「シュートチャレンジ」や「ルークのふわふわランド」を実施し、参加いただいた方にはオリジナルグッズをプレゼント。多くの方に楽しんでいただきました。



成長

国際女性デー

3月8日(土)は「国際女性デー (International Women's Day)」です。1904年3月8日、ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、1975年に国連によって制定されました。「女性の社会参加と地位向上を訴える日」とであるとともに「女性の素晴らしい活躍と、勇気ある行動を称える日」です。アルバルク東京では「ALVARK Will」の活動の一環として、3月8日の国際女性デー、3月1日～8日の女性の健康週間に合わせて、試合会場などで啓発活動を行いました。



成長

「トーヨーカネツ presents バスケキャラバン」実施

オフィシャルパートナーであるトーヨーカネツ株式会社のご協力のもと、江東区内の小学校5・6年生を対象に、アカデミーコーチによるバスケットボール授業を計3回実施しました。

- ・2024年12月 江東区立東砂小学校
- ・2025年1月 江東区立第三砂町小学校
- ・2025年2月 江東区立第四大島小学校

アルバルク東京アカデミーでは、バスケットボールを「楽しみ」として感じる事が、子どもたちの長期的な成長につながるという考えのもと指導を行っており、体を動かす楽しさを実感してもらえる機会となりました。



成長

日中体育交流促進協会 ユース交流合同練習

アルバルク東京アカデミーでは、ユース年代の試合機会の創出と海外文化交流を目的とした「アルバルク東京×日中体育交流促進協会 ユース合同練習」を開催しました。オフィシャルパートナーである日中体育交流促進協会を通じ、上海のクラブチームから希望者を募り合同練習・練習試合の実施をしました。



2024-25活動内容

成長

応援を題材とした道徳教材制作と北砂小での特別授業実施

12月23日(月)に江東区立北砂小学校の6年生を対象に「応援」をテーマとした道徳授業を実施しました。

いじめや人権について考える教材を制作する「Changers（スタンドバイ株式会社）」とアルバルク東京が共同制作したオリジナル教材を使い、「応援」が過熱する場面に題材に応援の本質について児童と考えました。

児童からは「相手がいてこそ試合ができる」「相手にも敬意を払うことが大切」といった意見が寄せられ、スポーツ観戦で最も重要と言っても過言ではない「リスペクトの気持ち」を深く学ぶ機会となりました。



成長

「アルバルク東京算数ドリル」を東京都内の公立小学校に無償配布

スポーツの魅力を感じながら子どもたちが楽しく算数を学ぶことができるように、バスケットボールやアルバルク東京の選手・

チアリーダー・マスコット等に関連した問題で構成されたドリルです。

東京都内の公立小学校 226校の小学6年生（児童数約26,000人）を対象に無償配布し、授業をサポートする副教材として、算数の授業・家庭学習・総合的な学習の時間などで活用いただいています。



成長

「#your_shoes」プロジェクト チャリティーオークションへの協力

アルバルク東京が参加する「TOKYO UNITE」では昨年に引き続き認定NPO法人キッズドアとともに都内の困窮家庭の子どもたちにスポーツ

シューズを届けるプロジェクト「#your_shoes」（ユア・シューズ）を

実施し、7月にはチャリティーオークションを開催いたしました。

アルバルク東京からは、#9安藤選手と#10ザック選手がバスケットボールシューズを出品しました。本オークションによる収益金は、手数料を除いた全額をシューズ購入費に充てられます。



成長

アルバルク東京×シブヤフォント コラボグッズ第四弾販売

社会的責任プロジェクト「ALVARK Will」の活動の一環として、一般社団法人シブヤフォントとのコラボグッズ第四

弾を販売いたしました。今回使用しているパターン「Meteor・流星」は、2024年10月27日(日)に開催された、「シブヤフォント2024年度新作データ発表会」にて、アルバルクチアリーダーのRUNA、NAGISAが「アルバルク東京賞」として選んだ作品となります。



2024-25活動内容

成長

「ALVARK Willシート」実施

SDGsの理念である“誰一人取り残さない”社会の実現に向け、今年もプロスポーツ観戦の機会を提供するホームゲーム招待事業を実施。株式会社Asway Corporationのご協力のもと、国立代々木競技場第一体育館で開催された試合に、2024-25シーズン通算390名をご招待しました。アルバルク東京は、今後も継続して家庭環境、経済環境に関係なくプロスポーツの試合観戦を頂ける機会を提供し、プロスポーツを通じて多くの方に夢や感動を伝えるための活動を実施して参ります。



成長

スタディドライブ実施

1月11日(土)名古屋ダイヤモンドドルフィンズ戦にてスタディドライブを実施しました。寄付していただいた文房具はフードバンク渋谷を通じて、学習に不自由されている方への支援に活用されます。

◆フードドライブ実施内容

寄付先：フードバンク渋谷

寄付品：文具223点



成長

江東図書館で「選手おすすめ本」を展示

オフィシャルパートナーであるトーヨーカネツ株式会社との共同企画として、1月18日(土)から江東区立江東図書館にて、アルバルク東京の選手おすすめの本と選手の等身大パネルの展示がスタートしました。さらに3月22日(土)からは選手のサイン入りバスケットボールシューズや2025年10月に開業する「TOYOTA ARENA TOKYO」の建築現場写真、トーヨーカネツの会社紹介などを展示しました。



成長

渋谷ハチコウ大学での授業実施

12月23日(月)と1月5日(日)に、渋谷ハチコウ大学の学生を対象に、講義と試合観戦体験を実施しました。12月の講義では、渋谷とアルバルク東京のつながりや地域活動、試合観戦の楽しみ方を学び、1月の試合観戦では講義で学んだ内容をもとに実際に試合を観戦し、アルバルク東京の魅力を体感していただきました。



2024-25活動内容

環境

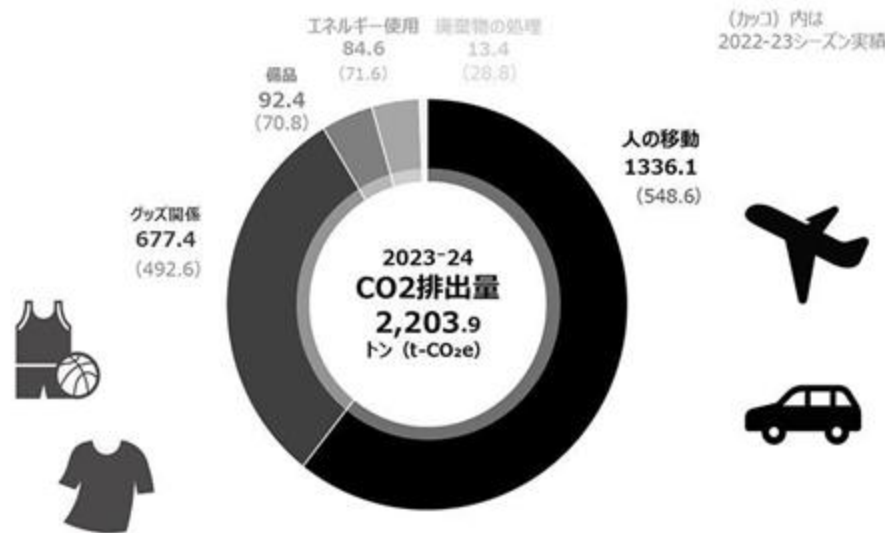
ホームゲームで排出される二酸化炭素（CO₂）量を測定し、カーボンオフセットに取り組みました。



昨シーズンに引き続きSDGsサポーターであるe-dash株式会社と協働し、ホームゲームから排出されるCO₂量の算定とカーボン・オフセットに取り組んでいます。この活動は今シーズンで3年目となります。

2023-24シーズン（*）の排出量は2,203.9トン（t-CO₂）で、この全量相当のカーボンクレジットに出資し、カーボンオフセットを実現いたしました。

（※）CO₂排出量算定作業には時間を要するため、当該期間に算定した排出量は前シーズン分の実績となります。



取り組み 1

SDGsパートナーであるe-dash株式会社と協力のもと、今シーズンのアルパルク東京のCO₂排出量を算出・可視化します。



取り組み 2

同社のサービスである「e-dash Carbon Offset」を通じて提供されるボランティア・クレジットを用いて、ホームゲーム全試合で発生したCO₂排出量をオフセットします。



今回のカーボンオフセットでは、合計2,204トン（t-CO₂）のカーボンクレジットを購入し、バングラデシュのガス漏れ削減プロジェクトに出資しました。



2024-25活動内容

環境

HTT（へらす・つくる・ためる）の取り組み



持続可能な社会の実現に向け、アルバルク東京では「HTT（へらす・つくる・ためる）」の推進に取り組んでいます。今シーズンは「電力をへらす」取り組みとして、カーボンニュートラルアクションの実施や、「Re-CUP WASHER」設置、マイボトル推進を継続。また、東京都と連携し、HTT普及に向けた展示や抽選会も行いました。

そして、2025年3月にはプロスポーツクラブとして初めて、「HTT取組推進宣言企業」として東京都産業労働局から表彰されました。

今後は、新アリーナでの再生可能エネルギー活用や太陽光発電の導入を通じて、「電力をつくる」取り組みの実現を目指してまいります。



※HTTとは、「電力を④へらす・①つくる・①ためる」の頭文字を取ったもので、都民や事業者とともに進める脱炭素化の取り組みです。

省エネや再生可能エネルギーの活用を通じて、温室効果ガスの排出削減を目指します。

環境

「くらしのサス活2024夏」への賛同と協力

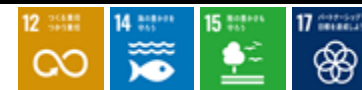


アルバルク東京は、TOKYO UNITEがタイアップする三井不動産レジデンシャル株式会社の脱炭素活動「くらしのサス活2024夏」に賛同・協力し、楽しみながら持続的に取り組める脱炭素アクションを後押ししました。



環境

Re-CUPプロジェクト



包装容器業界を牽引する東洋製罐グループホールディングス株式会社と連携し、『Re-CUPプロジェクト』に取り組みました。2024-25シーズンは、回収杯数30,851杯、回収率38%という成果を達成しました。特に、4月のホームゲームでは最高回収率59.9%を記録し、多くの来場者のご協力のもと回収意識の高まりが感じられるシーズンとなりました。



2024-25活動内容

環境

MYボトル推進プロジェクト



4シーズン目となる2024-25シーズンも、プラスチックごみ削減に向けてマイボトル利用を呼びかけ、使い捨て容器の削減に取り組みました。本シーズンは、マイボトル推進プロジェクトを4件実施し、継続的かつ強化された活動を展開しました。



また、2024-25シーズンのホームゲーム全30試合におけるペットボトルの概算廃棄量は、以下の通りです。容器削減に向けて着実に取り組んでおります。

	1試合あたりの ペットボトル平均廃棄量	1試合1人あたりの ペットボトル平均廃棄量
2024年10月～12月 ※ホームゲーム11試合	約30kg	約7g
2025年1月～3月 ※ホームゲーム12試合	約33kg	約5g
2025年4月 ※ホームゲーム7試合	約27kg	約4g



環境

企画シート「マニフレックスシート」



今シーズンも、選手の睡眠をサポートいただいているマニフレックスより、プラスチックや金属スプリングを使用しない特製クッションをご提供いただき、コラボ企画シートを設置しました。座面・背もたれともにリサイクル素材を採用し、快適性とサステナビリティを両立した特別シートで観戦をお楽しみいただきました。



環境

企画シート「THERMOSシート」



マイボトル推進プロジェクトの一環として、環境負荷低減に取り組むサーモス株式会社とのコラボ企画シートを設置しました。この席では、サーモスの真空断熱ジョッキでおいしい温度のドリンクが飲み放題。使い捨てカップを使わず、何杯飲んでもゴミゼロの環境に優しい観戦体験をご提供しました。さらに、お帰りの際にはジョッキをプレゼントいたしました。



2024-25活動内容

環境

CARBON NEUTRAL ACTION



昨シーズンに引き続き今シーズンも、社会的責任活動「ALVARK Will」の一環として、トヨタ自動車株式会社とともにカーボンニュートラルを推進する活動に取り組みました。

カーボンニュートラルアクション強化月間

『カーボンニュートラル』の取り組みに力を入れて3年目となる今シーズンは、2025年3月の1か月を『カーボンニュートラルアクション強化月間』として特に注力して取り組みました。



アップサイクルサコッシュ

バリュエンスジャパン株式会社が運営する公式オークションサービス『HATTRICK（ハットトリック）』にて、ユニフォームを再活用したアップサイクルオークションを実施しました。2023-24シーズンのユニフォームをサコッシュにアップサイクルし、選手・アルバルクチアリーダー・ルークの直筆サイン入りでお届け。
また、「アップサイクルサコッシュ」は通常グッズとしての販売も行いました。



CARBON NEUTRAL SESSION（カーボンニュートラルセッション）

#9安藤選手・#10ザック選手・#25福澤選手が参加し、カーボンニュートラルアクションについて考える「CARBON NEUTRAL SESSION（カーボンニュートラルセッション）」を実施しました。
セッションでは日頃選手たちが意識しているカーボンニュートラルアクションについて共有しました。



選手やルークの『CARBON NEUTRAL ACTION』を公式アカウントで公開

アルバルク東京公式アカウントにて、選手やルークが実施した様々なカーボンニュートラルアクションの取り組みを活動レポートとして公開しています。



2024-25活動内容

環境

WEの力でサステナブルな環境を作ろう！
『ALCO (ALVARK CARBON NEUTRAL COIN) 』



アルバルク東京は、2025年3月に新たな社会的責任プロジェクト「ALCO（アルコ）」の実証実験を実施しました。

ALCOは、プロスポーツとサステナビリティ、テクノロジーを融合させた、前例の少ない画期的な取り組みです。本プロジェクトを通じて、ファンや行政、パートナー企業とともに、持続可能な社会の実現を目指して活動に取り組みました。



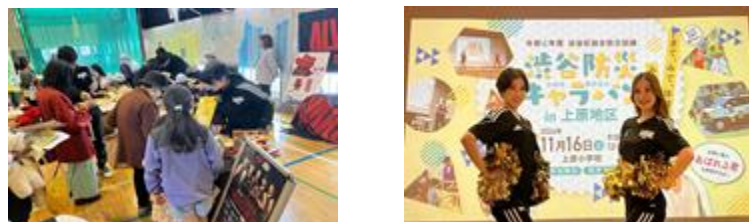
【ALVARK CARBON NEUTRAL COIN「ALCO」とは】

ALCOは、カーボンニュートラルアクションを促進するためのデジタルコインです。環境に配慮した行動を実践することでファンや地域の方々がコインを獲得でき、さまざまな特典と交換できる仕組みを導入しました。

環境

「渋谷防災キャラバンin上原地区」出演

11月16日(土)渋谷区立上原小学校で開催された「渋谷防災キャラバン」にルーク、アルバルクチアリーダーが出演しました。ブースで“そなえ”クロスワードパズルを実施し、ステージでは「防災ダンス」を通じて参加者のみなさんと防災の知識を高めました。



環境

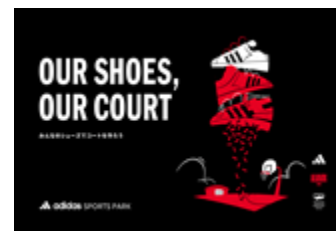
OUR SHOES, OUR COURT supported by adidas

ホームゲームで不要になったシューズ回収を実施し、計1,051足のご協力をいただきました。

回収したシューズは工場で粉砕・分級され、廃タイヤチップと混ぜてコート素材に再利用されます。

この素材は、新ホームアリーナ「TOYOTA ARENA TOKYO」の屋外コート adidas SPORTS PARK の施工に活用されます。

本取り組みは、シューズのリサイクルを通じて廃棄物削減と温室効果ガス排出の軽減に貢献しています。



環境

CIRCULAR FARM衣類回収プロジェクト

4月16日(水),26日(土),27日(日)のホームゲームで、不要衣類回収プロジェクト「服をあつめて、未来をつくる」を実施しました。約750名の方にご参加いただき、約600kg（半袖Tシャツ約3000枚に値する量）の衣類を回収しました。

回収した衣類はCIRCULAR FARM株式会社の技術で土壌改良材に再生され、来シーズン開業予定の「TOYOTA ARENA TOKYO」内で自然保護に活用されます。



主なメディア掲載一覧

ALVARK Willの活動を取り上げていただきました。

- バスケット・カウント(Basket Count)「『アルバルク東京算数ドリル（2024年度版）BLACK』が完成！ 東京都内の公立小学校に無償配布」2024年10月10日掲載
- シブヤ経済新聞ほか「代々木公園で「ふるさと渋谷フェスティバル」 オリパラ代表選手パレードも」2024年10月29日掲載
- Yahoo!ニュースほか「アルバルク東京の新プロジェクト「SHIBUYA×ALVARK Season Project」 地域と共に築く未来への絆」2024年10月30日掲載
- 産経ニュースほか「SDGsパートナー「アルバルク東京」との新たな取り組みとして小学校でバスケ教室を開催！アルバルク東京×サーモス「バスケとSDGs教室」を実施」2025年1月9日掲載
- Yahoo!ニュースほか「14チームが結集する「TOKYO UNITE」社会課題へのアプローチを通じ、東京を“エネルギーに満ちた都市”に」2025年1月25日掲載
- 東洋経済オンラインほか「「OUR SHOES, OUR COURT」プロジェクトが目指すサステナブルな未来」2025年2月6日掲載
- Sportsnavi（スポーツナビ）「ダイキンpresents SDGsクイズラリー開催！」2025年2月15日掲載
- Logistics Today「トーヨーカネツ、アルバルク東京とバスケ教室」2025年2月21日掲載
- ライブドアニュース（livedoor ニュース）ほか「2025年3月は『カーボンニュートラルアクション強化月間』として取り組みます！【社会的責任プロジェクト「ALVARK Will」】」2025年2月28日掲載
- 東洋経済オンラインほか「プロスポーツクラブ初！東京都で実施する「H T T 取組推進宣言企業」表彰企業に選出されました！」2025年3月6日掲載
- 東洋経済オンラインほか「ホームゲームでの使い捨てドリンク容器の削減を目的とした『ドリンク容器リユースサービス』の実証実験を開始」2025年3月18日掲載
- 産経ニュースほか「HATTRICK×アルバルク東京のアップサイクルサコッシュ、4月10日より販売決定！」2025年4月10日掲載

等々、多数の報道を頂きました。

2024-25 SDGsパートナー一覧

社会課題・社会問題の改善、SDGsの達成に向けて、多くのパートナー企業にご支援いただいています。

TOYOTA

magniflex

DAIKIN



SENKO
センコーグループ

 アイセイ薬局

THERMOS


CIRCULAR FARM

 Asway

 HIROTSU
BIO SCIENCE

 損保ジャパン
SOMPO

Adecco

トヨタ・カネツ

 Money Forward

TOYOTA **T&S**

 レンタルのニッケン
レンタルで循環型社会に貢献

 edash

100年をつくる会社
in 鹿島

HUB
BRITISH PUB


KYUSHU

 TOYOTA
SYSTEMS


soene

 日本交通

 Senoh

 理想の暮らしが見つかる
FIRST・LEADING
ファースト・リーディング